学術報告

同窓会活動報告

福岡歯科大学奈良県同窓会副会長　森 直樹（6期生）

福岡歯科大学奈良県同窓会は令和2年3月現在、奈良県下に1期生から34期生までの14名の卒業生で活動しています。奈良県歯科医師会の各地区での役員や、審査員を任されている先生もおられます。人数は少ないですが存在をアピールしています。今、母校は私たちの時の国家試験とは違い、大変厳しい国家試験合格に向けて苦労していますが、合格後の同窓生の活躍は日本歯科医師会理事や都道府県の歯科医師会長就任など、福岡歯科大学同窓生は頑張っていますので、在学生は頑張って国家試験合格を勝ち取ってください。

奈良県同窓会は、年に二度の総会、学術講演会を行い研鑽と親睦を深めています。

令和2年2月27日に本学3期卒業生の上林 融先生による学術講演会を開催したところ、本部同窓会より高嶺同窓会会長代行、石田副会長、吉永理事にも参加いただき「近年のニッケルチタンファイルについて」と題してご講演いただきました。上林先生は第一保存学教室で10数年在籍され、講師としてご活躍の後、出身地の奈良で開業医として活躍中です。

臨床家として自分が使っているファイルの良し悪し、実際に使用しているファイルも持参いただき、ファイルの選び方、特徴、根管拡大方法、耐久性、減菌方法、交換時期の目安や減速コントラの選び方からその後の根充までの流れについてご講演いただきました。

沢山のメーカーの資料も用意していただき、明日からの診療に役立つ講演会でした。

講演後に上林先生を囲んで

同窓生からの手紙

いまこそこの精神で！

福岡歯科大学同窓会専務理事　秋山 達也（7期生）

還暦節目の挑戦です。今年はコロナウイルス感染予防のため開催予定の本部同窓会理事会、評議員会、総会も相次いで書面会議となりました。時間や空間を共にする会議であるからこそ、より良いアイデアや白熱した議論が交わされると思いましたが残念です。学術講習会・各地区総会、九地連も相次いで中止、延期が決定されています。（この原稿が掲載される頃には終息している事を願います。）また「令和2年7月豪雨」も起こりました。同窓生の先生も被害に遭われています。被災されました皆様の一日も早い復旧を願っています。しかし暗い話ばかりではありません。7月27日に福岡学園開学記念式典が開催され、医科歯科総合病院が今年9月に開院しています。施設設計上には「つなぐ4つのコンセプト」1．地域社会、2．教育研究臨床、3．医科歯科、4．未来があるそうです。また2年後には学校法人福岡学園・福岡歯科大学創立50周年事業を控えております（我が大学では約4500名を超える卒業生を輩出し各分野で活躍されております。）より多くの先生方とともに一つの節目を祝えればと思っております。今こそ水田理事長が唱えておられる「A・T・M 明るく楽しく前向きに」この精神で立ち向かいましょう。来年開催予定の同期生卒後35周年記念及び昭和35年生還暦のお祝いの宴での再会を楽しみにしています。

Hi! From Clinic

クリニックからこんにちは!

同窓生として今思うこと

杉本 大輔（24期生）

24期の杉本大輔です。卒後3年間佐賀県杵島郡大町町の小川内先生（3期生）の元で、研修をさせていただき、現在まで実家の福岡市南区で歯科診療を続けております。在学中は硬式野球部に在籍していたこともあって、福岡に帰ってすぐに歯科医師会の野球部に入部（いい大人が）しました。そこも歯科大OB（殆どは硬式野球部の先輩方でもある）が幅を利かせる気持ちの良い空間で、今に至るまでシゴかれています。残念ながら現在は新型コロナウイルスの影響で活動が出来ていないのですが。

また歯科医師会の仕事を行っていく上でも大学OBに支えられて仕事を覚え、繋がりの中で自然に同窓会の仕事も手伝うようになり、野球部以外の先輩方との交流も得ることが出来ました。この大学に居たからこその『出会い』は図り得ないものがあり感謝しています。僕等の上の世代のOBの方々が、様々な試みで歯科界を良くしようと不断の努力を続けられている背中を観ながら、僕等も踏まえて行動していきたいと思う次第です。

最後に、それをさらに繋ぐための後輩の輩出が滞っていることは、僕等にはどうする事も出来ずに悔しいし、残念でならないので、教育機関としての責務を果たしてもらいたいと切に願います。

卒業生NOW

コロナ禍での余暇

福原 隆文（25期生）

皆さま、こんにちは。25期生の福原隆文（ばしたか）です。地元大分県に戻り、開業してから気が付けば12年の歳月が経ちました。訪問診療など地域密着型の診療体制も、ようやく地元に根付いてきたかなと思う今日この頃です。さて、昨今のコロナ禍において世界中で大変な状況となっており、我々、歯科業界もこれまで以上の感染防止対策を余儀なくされ、日々の診療にも多大なる影響が出ている事と存じます。そんな中、趣味のゴルフも3～6月とコンペが次々と中止となり、モチベーションも上がらず練習も疎かになり…。はい、世間でいうコロナ太りに陥りました（笑）このままではいかんと思い悩んでいる時、地元の後輩からスケートボードに誘われました。なぜか地元の30～40代のオジサン達の間でスケボーが流行っており、私も若い頃にやっていた為、誘ってくれたようです。週2、3回ペースでやっており怪我をしない程度に楽しんでいます。おかげでコロナ以前の体重に戻る事が出来ました！

現在、コロナの影響で歯科医師会関連の各種行事、講習会など、ほぼ中止となっており他の趣味や家族との時間を作れている毎日です。以前の生活に戻れば、ここまで趣味などに時間を費やせない為、複雑な心境ですが…、コロナが早く終息して欲しいと切に願います。